

神奈川県微生物検査情報

<http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/>

神奈川県衛生研究所

第 144 号

(2004年12月)

平成 17 年 3 月 3 日発行

話題：インフルエンザ情報の提供について

ヒト由来細菌情報

医療機関からの患者発生届けに伴う関係者調査を実施し、パラチフス A 菌、腸管出血性大腸菌が検出された。

県内病院からの検体検査でマイコプラズマが検出された。

食品由来細菌情報

病原菌は検出されなかった。

環境由来細菌情報

河川水腸管系病原菌調査から 01 & 0139 以外のコレラ菌およびサルモネラが検出された。

集団発生情報

県域で食中毒様胃腸炎が 8 事例発生し、遺伝子検出法にて検査したところ、患者便および吐物、従事者便からノロウイルスが検出された。

感染症は 5 事例発生し、患者便および吐物からノロウイルスが検出された。

県域外発生関連調査

他の自治体から依頼のあった食中毒様胃腸炎 5 事例の患者便からノロウイルスが検出された。

ウイルス情報

検査定点からの依頼によるもの

インフルエンザ様患者咽頭拭い液（または鼻腔拭い液）から、コクサッキーウイルス B5 型が分離された。また、遺伝子増幅法により RS ウイルス遺伝子が検出された。

咽頭結膜熱患者の咽頭拭い液から、アデノウイルス 3 型が分離された。

その他、気管支肺炎患者の咽頭拭い液から遺伝子増幅法により RS ウイルス遺伝子が検出された。

(微生物部・地域調査部)

話題

インフルエンザ情報の提供について

インフルエンザの情報は季節流行感染症情報として提供しております。

定められた医療機関からの報告によりインフルエンザの発生動向を毎週、週報として提供し、ホームページでは、ウイルス分離状況および神奈川県内の流行レベルマップも地図情報として提供しております。

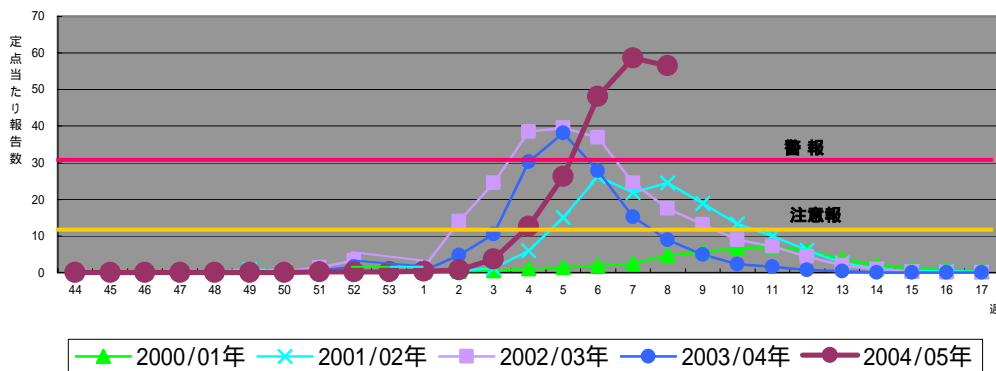
今シーズンは流行の立ち上がりは遅かったのですが、神奈川県では未だに流行の衰えは見せておりません。8週現在の状況を提供致します。

大流行となった2004/05年のインフルエンザは、8週(2005/2/21~2/27)現在、定点当たり患者報告数が先週の58.54をピークに、今週は56.56と若干減少傾向が伺えますが、相変わらず猛威をふるっています。しかし、まだ安心はできません。

過去5シーズンを比較すると注意報の基準値を超えたのは2001/02年シーズンでは5週目、今シーズンは4週目と2番目に遅くなりましたが、その後の定点あたり報告数はうなぎのぼりとなりました。

分離されたインフルエンザウイルスはAH3型とB型で、昨シーズンに比べB型が半数以上を占め流行が目立っています。

神奈川県内のインフルエンザ過去5年間発生状況



赤線は、流行発生警報の開始基準値です。

警報は、大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

橙線は、流行発生注意報の基準値です。

注意報は、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示します。また、流行発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性があることを示します。

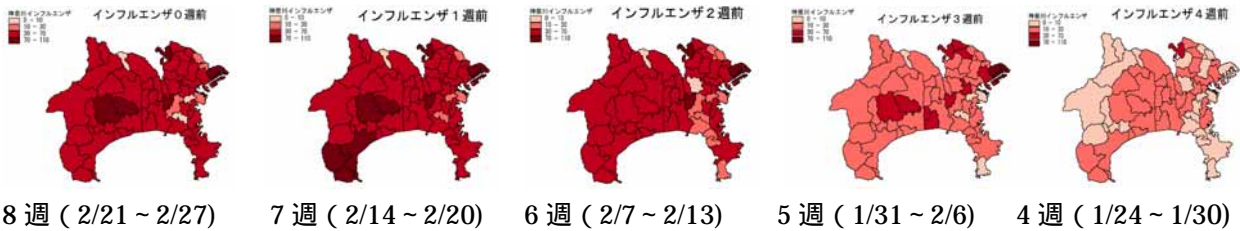
ウイルス分離状況(集団かぜを含む)

2月27日現在、県内のウイルス分離状況はA香港型とB型です。昨シーズンもA香港型とB型が分離されていますが、今シーズンはB型の占める割合が高く全国集計でも半数以上を占めています。

月	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス型			インフルエンザ以外のウイルス型	昨年同期		
			AH3	B	その他		検体数	陽性数	ウイルス型
12月	7	0				30	15	AH3	
1月	58	30	13	17		150	108	AH3・B	
2月	143	29	11	18		66	50	AH3・B	
3月						5	4	AH3	

神奈川県インフルエンザ流行レベルマップ

県域では4週に定点当たり12.54と注意報の基準値を超えて流行が始まり、7週では定点当たり58.54となり7年ぶりの大流行となりました。横浜市でも同様の傾向がみられ7週で52.54を記録し、市衛生研究所において2月24日現在で分離したインフルエンザウイルスはB型47例(73%)、A香港型12例(27%)となっています。



インフルエンザ（高病原性鳥インフルエンザを除く）

(値：定点当り罹患数)

	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	0週前
	1月17日~1月23日	1月24日~1月30日	1月31日~2月6日	2月7日~2月13日	2月14日~2月20日	2月21日~2月27日
神奈川県過去5年平均	14.95	26.12	30.22	26.42	16.79	12.73
全国	2.81	7.94	16.46	29.73	40.79	49.19
神奈川県全域計	4.12	12.77	27.20	45.90	53.08	50.42
横浜市全域	4.39	11.98	26.05	43.09	48.38	44.48
鶴見区保健所	5.00	19.10	38.70	68.30	68.80	61.70
神奈川区保健所	6.50	10.70	27.00	44.80	49.90	35.40
西区保健所	5.13	13.88	27.13	43.88	38.88	31.13
中区保健所	1.00	5.80	3.80	14.80	16.80	24.80
南区保健所	-	2.60	3.60	12.40	11.20	8.60
津南区保健所	7.25	-	24.75	48.88	45.88	45.38
保土ヶ谷区保健所	11.25	22.38	33.00	41.13	57.88	56.75
旭区保健所	2.13	5.00	15.25	-	41.00	39.50
磯子区保健所	4.50	21.10	29.90	41.50	56.80	49.50
金沢区保健所	4.43	19.29	25.14	50.29	51.57	57.14
港北区保健所	1.50	9.13	22.38	34.38	42.63	40.63
緑区保健所	5.55	12.73	25.27	46.09	49.36	51.00
戸塚区保健所	4.14	11.43	15.29	27.71	38.71	25.57
瀬谷区保健所	2.70	13.60	25.20	35.30	35.30	36.20
栄区保健所	0.60	2.20	2.80	11.60	11.40	9.20
東区保健所	5.20	12.40	43.00	78.20	85.20	82.40
青葉区保健所	2.00	6.57	29.86	44.86	60.71	60.71
都筑区保健所	2.80	14.30	26.90	51.80	50.90	50.40
川崎市全域	4.54	15.39	32.61	48.23	50.33	49.57
川崎区保健所	8.29	4.57	70.86	101.43	94.57	80.57
幸区保健所	4.75	12.88	24.13	33.50	30.88	29.00
中原区保健所	3.71	9.86	18.43	30.00	27.86	27.71
高津区保健所	2.88	8.00	22.00	27.88	35.88	33.75
宮前区保健所	4.63	14.13	33.88	58.13	63.75	59.13
多摩区保健所	5.75	19.13	46.13	59.14	50.63	69.38
麻生区保健所	6.38	33.38	53.38	77.63	87.13	78.88
神奈川県域計	3.70	12.54	26.26	48.11	58.54	56.56
横須賀市保健所	2.38	9.00	27.69	49.31	59.50	66.13
平塚保健所	4.00	13.73	19.64	39.00	52.36	48.00
鎌倉保健所	1.40	5.90	11.40	11.40	36.90	38.50
藤沢保健所	6.07	18.93	26.71	44.71	52.93	48.21
小田原保健所	3.40	12.70	24.70	50.60	71.00	60.70
相模原保健所	3.40	12.35	28.20	55.55	63.85	53.55
三崎保健所	1.67	2.67	7.67	15.33	33.67	47.67
厚木保健所	4.88	15.24	29.76	52.76	68.00	64.71
足柄上保健所	2.00	4.00	11.40	31.60	43.40	43.60
津久井保健所	1.20	5.60	25.80	43.00	38.80	34.80
秦野保健所	5.90	16.00	35.10	56.50	71.40	78.80
大和保健所	2.73	11.09	28.91	42.64	56.18	60.64
茅ヶ崎保健所	5.00	19.10	38.70	68.30	68.80	61.70

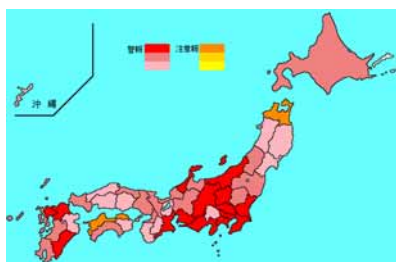
■ : 流行発生警報 (30以上)

■ : 流行発生注意報 (10以上)

全国のインフルエンザ流行レベルマップ（国立感染症研究所情報センター）

7週は保健所地域で見ると、注意報レベルのみを超えているのが215地域、警報レベルを超えているのが338地域である。都道府県単位で見ると、注意報レベルのみを超えた保健所があるのは3都道府県、警報レベルを超えた保健所があるのは44都道府県である（下の地図を参照）。このようにインフルエンザの流行は全国的な規模に発展した。

現在までに分離が報告されたインフルエンザウイルスは、AH1型108件、AH3型418件、B型746件で、B型が半数以上を占めている。



7週（2/14～2/20）



6週（2/7～2/13）



5週（1/31～2/6）



4週（1/24～1/30）



3週（1/17～1/23）



2週（1/10～1/16）

（企画情報部）

表1 ヒト由来検査件数及び病原菌検出状況(検査材料取扱い機関別) (平成16年12月)

	平塚保健所	鎌倉保健所	藤沢保健所	小田原保健所	茅ヶ崎保健所	三崎保健所	秦野保健所	厚木保健所	大和保健所	足柄上保健所	津久井保健所	小計	衛生研究所	合計
取り扱い検査件数(海外渡航者)	522	388 (1)	381	1948	213	112	315	270 (2)	97 (1)	184	210	4640 (4)	2	4642 (4)
パラチフスA菌		1(1)										1(1)		1(1)
腸管出血性大腸菌						1						1		1
マイコプラズマ ニューモニエ													1	1

平成16年12月、ヒト由来の検体4,642件を検査した。

医療機関からの二類、三類感染症患者発生届けに伴う患者家族検便を実施し、鎌倉保健所管内で海外渡航者からパラチフスA菌が1件、腸管出血性大腸菌が三崎保健所管内で1件(0157 *stx2*)検出された。

県内2病院からの咽頭ぬぐい液2検体中1検体からマイコプラズマ ニューモニエが検出された。

表2 食品由来検査件数及び病原菌検出状況(検査材料取扱い機関別) (平成16年12月)

	平塚保健所	鎌倉保健所	藤沢保健所	小田原保健所	茅ヶ崎保健所	三崎保健所	秦野保健所	厚木保健所	大和保健所	足柄上保健所	津久井保健所	小計	衛生研究所	合計
取り扱い検査件数	9	18	7	32	9	62	10	8		15	2	172	20	192

平成16年12月、食品由来の検体192件を検査したところ病原菌は検出されなかった。

表3 環境由来検査件数及び病原菌検出状況(検査材料取扱い機関別) (平成16年12月)

	平塚保健所	鎌倉保健所	藤沢保健所	小田原保健所	茅ヶ崎保健所	三崎保健所	秦野保健所	厚木保健所	大和保健所	足柄上保健所	津久井保健所	小計	衛生研究所	合計
取り扱い検査件数	10	19		29	15	20	14	5				112	22	134
O1 & O139以外のコレラ菌													6	6
サルモネラ O4群													4	4
サルモネラ O7群													1	1
サルモネラ O8群													2	2
サルモネラ O9群													1	1
サルモネラ O13群													1	1
サルモネラ O1,3,19群													1	1

平成16年12月、県内10定点の河川水腸管系病原菌調査から、O1 & O139以外のコレラ菌が6件、サルモネラO4群(血清型Agona, Typhimurium, Derby, 型別不能, 各1件)、O7群(型別不能, 1件)、O8群(血清型Newport, Corvalis, 各1件)、O9群(血清型Enteritidis, 1件)、O13群(型別不能, 1件)、O1, 3, 19群(血清型Senftenberg, 1件)、計10件検出された。

表4 ウイルス検出状況(月別)

(平成17年 1月31日現在検出分)

検出ウイルス	月													平成16年累計	
	平成15年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
インフルエンザ AH3	92	107	48	4											159
インフルエンザ B	27	1	2												3
パラインフルエンザ 3								1							1
RS												1	2		3
コクサッキー A2								3							3
コクサッキー A4	5							4	1						5
コクサッキー A6	1						2	1							3
コクサッキー A9							1								1
コクサッキー A10	8														
コクサッキー A12	9							1							1
コクサッキー A16								3	2		2	2			9
コクサッキー B1	4									2					2
コクサッキー B2	1														
コクサッキー B4										1					1
コクサッキー B5										1				1	2
エコー 6	1									1					1
エコー 14	1														
エコー 18					2	1		4							7
エンテロ 71	6														
ムンプス	2				1										1
アデノ 1	1														
アデノ 2									1						1
アデノ 3	1					1	1	3			1	1	2		9
アデノ 4	3														
アデノ 40/41								1							1
アデノ(型未決定)	1														
口 夕	10		1	2											3
小型球形	25														
ノ 口	145	46	26	20	21		2		3		27	7	180		332
未 同 定	1								1	2					3
合 計	344	154	77	26	24	2	7	22	13	0	30	11	185		551

表5 ウイルス検出状況（疾患別）

（平成17年 1月31日現在検出分）

疾患名 検出ウイルス	感 染 性 胃 腸 炎	手 足 口 病	ヘ ル パ ン ギ ー ナ	イン フル エン ザ 様	咽 頭 結 膜 熱	無 菌 性 髄 膜 炎	急 性 脳 炎	食 中 毒	そ の 他	合 計
取り扱い検査件数	124			10	2			218	15	369
RS				1					1	2
コクサッキー B5				1						1
アデノ 3					2					2
ノロ	69							111		180

平成16年12月、県域で食中毒様胃腸炎が8事例発生し、患者便および吐物103検体、従事者便96検体および食品12検体について遺伝子検出法にて検査したところ、患者便および吐物85検体、従事者便19検体からノロウイルスが検出された。

感染症は5事例発生し、患者便および吐物86検体、従事者便38検体のうち患者便および吐物69検体からノロウイルスが検出されたが、従事者便からは検出されなかった。

県域外発生関連調査

他の自治体から依頼のあった食中毒様胃腸炎5事例の患者便8検体のうち7検体からノロウイルスが検出された。

発生動向調査の病原体検査定点からの依頼によるもの

インフルエンザ様患者10名の咽頭拭い液（または鼻腔拭い液）の検査を行ったところ、コクサッキーウイルスB5型1株が分離された。また、前述患者のうち1名から遺伝子増幅法によりRSウイルス遺伝子が検出された。

咽頭結膜熱患者の咽頭拭い液2検体から、アデノウイルス3型が2株分離された。

その他、気管支肺炎患者1名の咽頭拭い液から遺伝子増幅法によりRSウイルス遺伝子が検出された。